

II 大豆、とうもろこしに対するロロックスとラッソーの混用処理

(1) 背景

現在、大豆、とうもろこしに使用されているロロックス水和剤およびラッソー乳剤は単用処理の場合それぞれイネ科雑草、広葉雑草に対して効果が劣る。そこで広葉雑草に対して効果の高いロロックス水和剤とイネ科雑草に効果の高いラッソー乳剤を混用処理したところ薬害がなく、高い除草効果が得られたので参考に供する。

(2) 技術内容

1) 除草剤の種類名と対象作物

- ① 除草剤名 {
 ロロックス水和剤 (リニューロン 50%水和剤)
 ラッソー乳剤 (アラクロール 43.5%乳剤)
- ② 対象作物 大豆、とうもろこし

2) 除草剤の使用法

作物名	処理法	使用法	備考
大豆	使用時混合	ラッソー乳剤 200 ~ 300 ml/10a	イネ科
	播種後土壌処理	ロロックス水和剤 150 g/10a	広葉地帯
とうもろこし	使用時混合	ラッソー乳剤 150 ~ 200 ml/10a	"
	播種後土壌処理	ロロックス水和剤 150 g/10a	

3) 適用範囲 火山灰土地帯

(3) 指導上の留意点

- 1) 混用利用の場合は個々の薬剤の注意事項を厳守する。
- 2) 各薬剤は半量の水に稀釈して混合するのが望ましい。
- 3) 砂質土壌での使用はさける。

(4) 試験結果の概要

1) 試験年次 昭和54年

2) 試験場所 岩手農試本場

3) 試験方法 品種;大豆、白目長葉、とうもろこし、スノーデント1号

播種期;大豆 5月29日、とうもろこし 5月14日

4) 主要成果の具体的データ

昭和54年度

	除草剤名	処理量 ml, g/a	除草効果%			薬害	作物関係		
			(残草量対無処理比)				開花期 (月・日)	完全除草対比(%)	
			イネ科	広葉	総計			茎長	子実種
大豆	アラクロール+リニュロン	20+15	1	4	4	無	7 26	90	104
	"	30+15	3	1	1	無	7 26	98	92
	"	40+15	0	t	t	無	7 26	98	99
	アラクロール	30	6	45	43	無	7 26	101	107
	"	45	13	18	17	無	7 26	106	109
	リニュロン	20	6	12	12	無	7 26	98	99
無処理、雑草量 (m ² 当り) ♂			9.3	120.6	129.9	—	7 26	62.3	30.5
(7月6日) 本			37.0	318.0	355.0	—		(cm)	(Kg/a)

*tは trace の意

	除草剤名	処理量 ml, g/a	除草効果%			薬害	作物関係		
			(残草量対無処理比)				抽雌期 (月・日)	完全除草対比(%)	
			イネ科	広葉	総計			茎長	全重
とうもろこし	アラクロール+リニュロン	15+15	5	12	12	無	8 10	102	105
	"	20+15	0	5	5	無	8 10	98	106
	アラクロール	15	3	61	58	無	8 10	106	102
	"	20	6	25	24	無	8 10	105	101
	リニュロン	20	45	32	33	無	8 10	103	103
無処理、雑草量 (m ² 当り) ♂			6.5	123.4	129.9	—	8 10	233	660
(7月2日) 本			38	84	122	—		(cm)	(Kg/a)

5) 参考資料 昭和54年度畑作関係除草剤試験成績書 岩手農試

(5) 残された問題点

沖積土壌への拡大